

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター  
福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト

## 2013年度 栃木県へ避難している方へのアンケート 集計結果 (2013年12月20日)

### <アンケート実施期間>

2013年8月5日(月)～2013年8月30日(金)

### <発送協力>

とちぎ暮らし応援会

### <回収>

1,017件発送 107件回収 (回収率 10.5%)

### <実施者>

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター(CMPS)

福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト(FSP)

お願い：印刷物やHPへの無断の転載は御遠慮下さい。また引用される場合には、以下のように出典を明記してください。転載の許可を含めて、その他ご不明な点は、多文化公共圏センターにお問い合わせください。

出典：宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター(CMPS)福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト(2013年12月20)「栃木県へ避難している方へのアンケート」(2013年8月実施)より

### <助成>

国際ソロプチミスト宇都宮

一般社団法人 国立大学協会

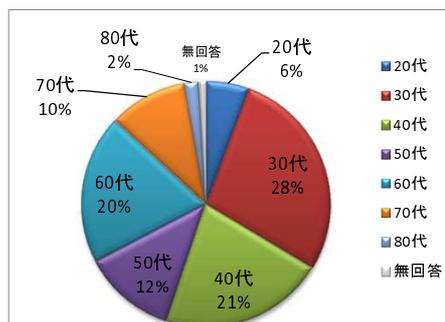
日本学術振興会科学研究費 挑戦的萌芽研究

# 栃木県避難者アンケート 2013年度【基本情報】

## 【基本情報】

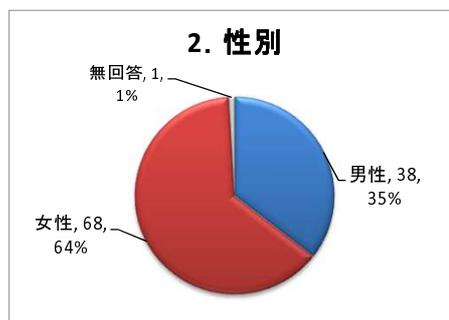
### 1. 回答者の年代

	回答数	%
20代	6	5.6%
30代	30	28.0%
40代	23	21.5%
50代	13	12.1%
60代	21	19.6%
70代	11	10.3%
80代	2	1.9%
無回答	1	0.9%
計	107	100.0%



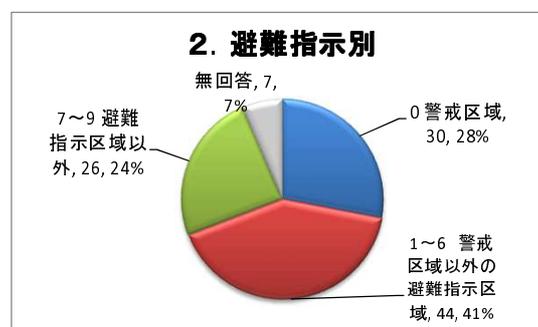
### 2. 性別

	回答数	%
男性	38	35.5%
女性	68	63.6%
無回答	1	0.9%
計	107	100.0%



### 1. 出身自治体

出身自治体	回答数	%
浪江町	23	21.5%
南相馬市	18	16.8%
富岡町	11	10.3%
郡山市	10	9.3%
福島市	8	7.5%
いわき市	7	6.5%
大熊町	7	6.5%
双葉町	6	5.6%
楢葉町	4	3.7%
田村市	3	2.8%
西郷村	2	1.9%
相馬市	1	0.9%
本宮市	1	0.9%
伊達市	1	0.9%
小野町	1	0.9%
伊達郡	1	0.9%
川内村	1	0.9%
飯館村	1	0.9%
無回答	1	0.9%
計	107	100.0%



### 2. 警戒区域別

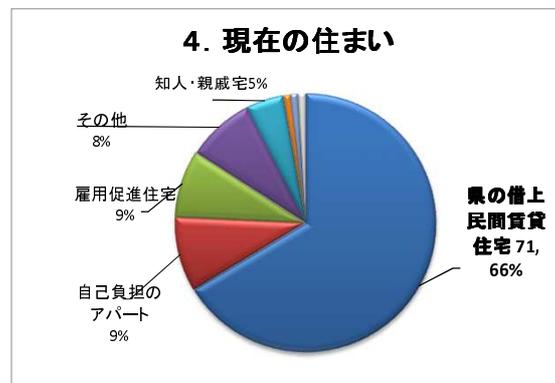
		回答数	%	回答数	%
避難指示区域	0 警戒区域	30	28.0%	30	28%
	1 計画的避難区域	2	1.9%	44	41%
	2 帰宅困難区域(区域再編後の記入)	9	8.4%		
	3 居住制限区域(区域再編後の記入)	8	7.5%		
	4 避難指示解除準備区域(区域再編後の記入)	4	3.7%		
	5 緊急時避難準備区域	19	17.8%		
避難指示区域外	6 特定避難勧奨地点	2	1.9%		
	7 指示・指定なし	22	20.6%	26	24%
	8 福島県その他	3	2.8%		
	9 福島県以外	1	0.9%		
無回答		7	6.5%	7	7%
計		107	100.0%	107	100.0%

### 3. 居住自治体

	回答数	%
宇都宮市	27	25.2%
佐野市	8	7.5%
那須塩原市	7	6.5%
鹿沼市	6	5.6%
下野市	5	4.7%
真岡市	5	4.7%
大田原市	4	3.7%
那須町	4	3.7%
益子町	3	2.8%
小山市	3	2.8%
足利市	3	2.8%
日光市	3	2.8%
さくら市	2	1.9%
壬生町	2	1.9%
栃木市	2	1.9%
野木町	2	1.9%
今市市	1	0.9%
芳賀町	1	0.9%
上三川町	1	0.9%
那須烏山市	1	0.9%
無回答	17	15.9%
計	107	100.0%

### 4. 現在の住まい

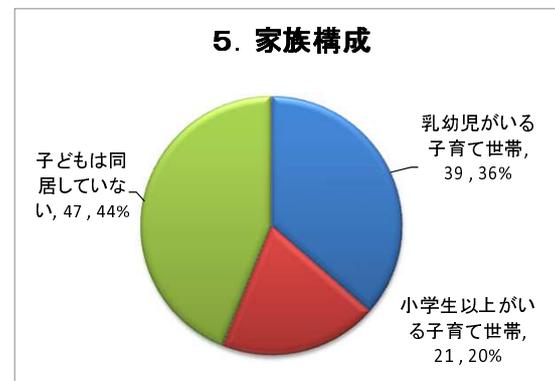
	回答数	%
1 県の借上民間賃貸住宅	71	66.4%
6 自己負担のアパート	10	9.3%
4 雇用促進住宅	9	8.4%
7 その他	9	8.4%
5 知人・親戚宅	5	4.7%
2 県営住宅	1	0.9%
3 市町村営住宅	1	0.9%
無回答	1	0.9%
計	107	100.0%



### 5. 家族構成

	回答数	%
乳幼児がいる子育て世帯	39	36.4%
小学生以上がいる子育て世帯	21	19.6%
子どもは同居していない	47	43.9%
計	107	100.0%

子ども：小学生～18歳



## 栃木県避難者アンケート 2013年度

### 【ご家族について】

1. 現在住んでいる地域・自治会の人と交流がありますか。

	回答数	%
ない	65	60.7%
ある	33	30.8%
無回答	9	8.4%
自治会に加入している	20	
計	107	100.0%

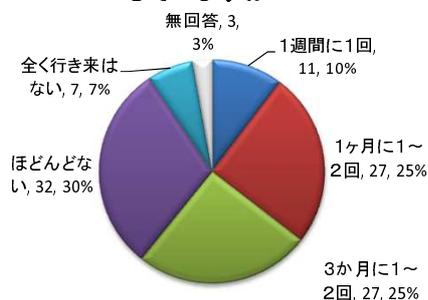
### 1. 現在住んでいる地域・自治会の人と交流がありますか



2. あなたやご家族は、どのくらいの頻度で避難元と避難先を行き来していますか。

	回答数	%
1週間に1回	11	10.3%
1ヶ月に1回	27	25.2%
3か月に1～2回	27	25.2%
ほとんどない	32	29.9%
全く行き来はない	7	6.5%
無回答	3	2.8%
計	107	100.0%

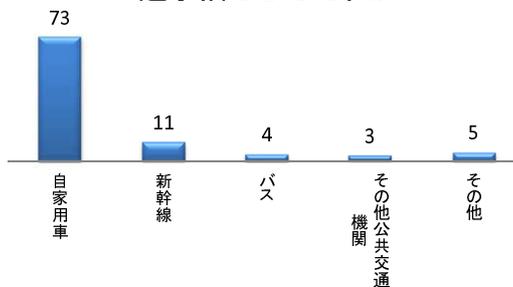
### 2. どのくらいの頻度で行き来していますか



3. ご家族との行き来のための交通手段はなんですか。  
(複数回答可)

	回答数	%
自家用車	73	57.9%
新幹線	11	8.7%
バス	4	3.2%
その他公共交通機関	3	2.4%
その他	5	4.0%
無回答	30	23.8%
計	126	100.0%

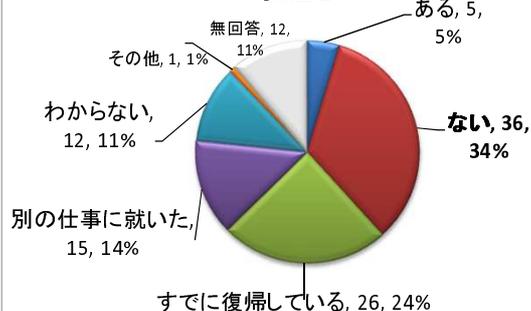
### 3. ご家族との行き来のための交通手段はなんですか



4. 震災前、あなたの家計を支えていた人は今、震災前にしていた仕事に復帰できる見通しはありますか。

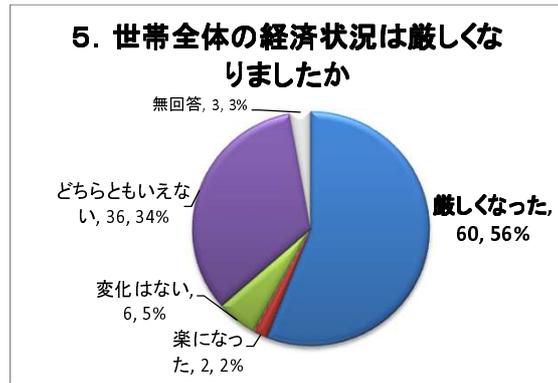
	回答数	%
ある	5	4.7%
ない	36	33.6%
すでに復帰している	26	24.3%
別の仕事に就いた	15	14.0%
わからない	12	11.2%
その他	1	0.9%
無回答	12	11.2%
計	107	100.0%

### 4. 家計を支えていた人の仕事復帰の見通し



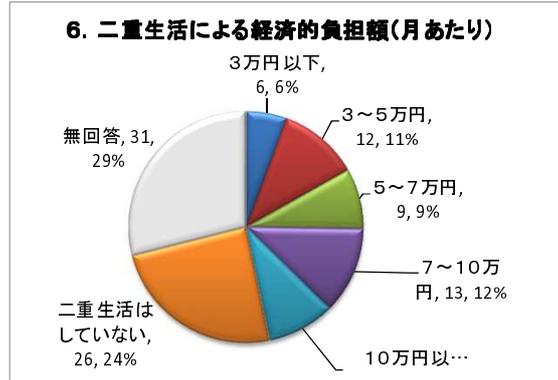
5. 震災後、離れているご家族も含めて世帯全体の経済状況は厳しくなりましたか。

	回答数	%
厳しくなった	60	56.1%
楽になった	2	1.9%
変化はない	6	5.6%
どちらともいえない	36	33.6%
無回答	3	2.8%
計	107	100.0%



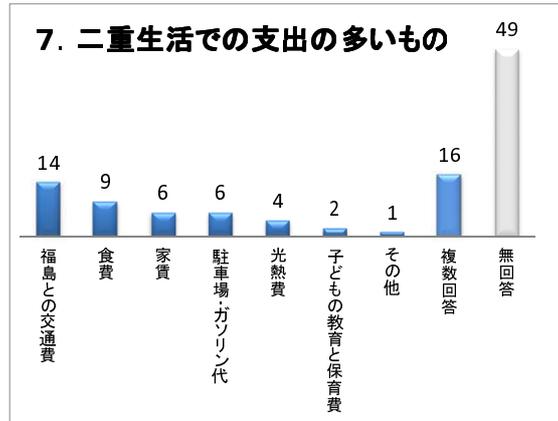
6. 二重生活をしている場合、避難元等との二重生活による経済的負担額(月あたり)はいくら位ですか。

	回答数	%
3万円以下	6	5.6%
3~5万円	12	11.2%
5~7万円	9	8.4%
7~10万円	13	12.1%
10万円以上	10	9.3%
二重生活はしていない	26	24.3%
無回答	31	29.0%
計	107	100.0%



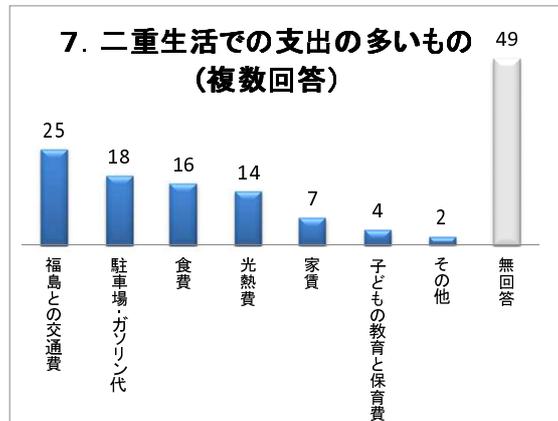
7. 二重生活での支出がもっとも多いもの(ひとつ)はなんですか。

	回答数	%
福島との交通費	14	15.4%
食費	9	9.9%
家賃	6	6.6%
駐車場・ガソリン代	6	6.6%
光熱費	4	4.4%
子どもの教育と保育費	2	2.2%
その他	1	1.1%
複数回答	16	17.6%
無回答	49	53.8%
計	107	100.0%



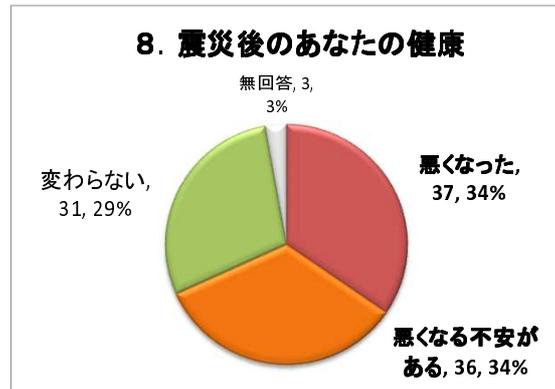
複数回答

	回答数	%
福島との交通費	25	23.4%
駐車場・ガソリン代	18	16.8%
食費	16	15.0%
光熱費	14	13.1%
家賃	7	6.5%
子どもの教育と保育費	4	3.7%
その他	2	1.9%
無回答	49	45.8%
計	135	
全回答者数(母数)	107	100.0%



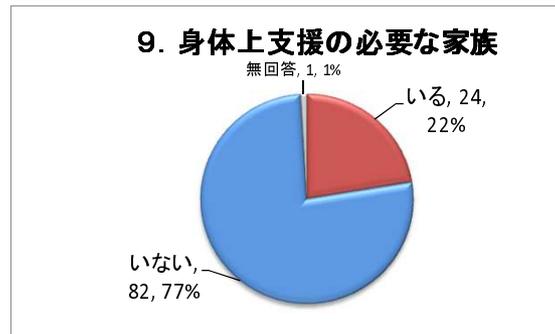
8. 震災後、あなたの健康状態に変化ありましたか。

	回答数	%
悪くなった	37	34.6%
具体的に:別紙1		
悪くなる不安がある	36	33.6%
変わらない	31	29.0%
無回答	3	2.8%
計	107	100.0%



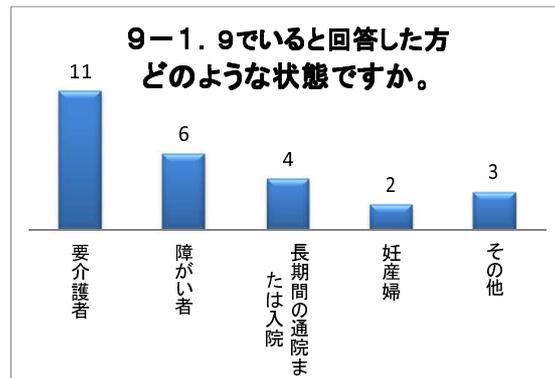
9. 現在、ご家族(回答者を含む)のなかに、身体上特別配慮は生活上の支援を必要とする方はいますか。

	回答数	%
いる	24	22.4%
いない	82	76.6%
無回答	1	0.9%
計	107	100.0%



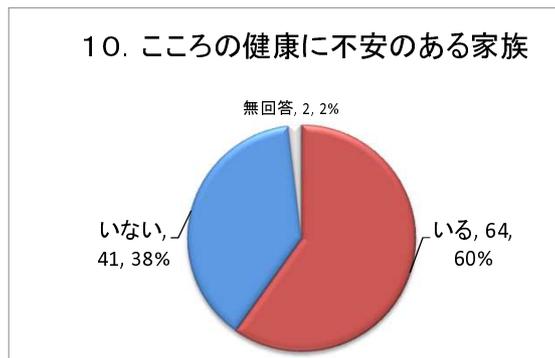
9-1. 9でいると回答した方 どのような状態ですか。(複数回答可)

	回答数	%
要介護者	11	45.8%
障がい者	6	25.0%
長期間の通院または入院	4	16.7%
妊産婦	2	8.3%
その他	3	12.5%
計	26	
家族の身体上支援の必要な方が「いる」回答者(母数)	24	100.0%



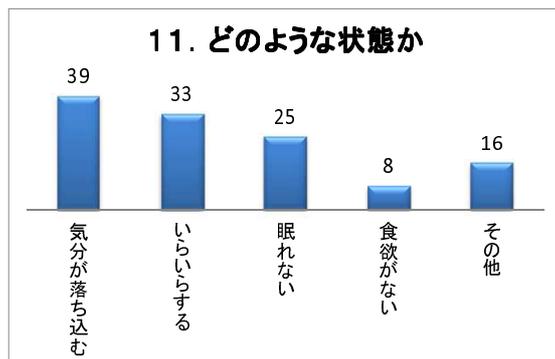
10. こころの健康に不安や心配を感じているご家族はいますか？

	回答数	%
いる	64	59.8%
いない	41	38.3%
無回答	2	1.9%
計	107	100.0%



11. 10で「いる」と回答の方で、心の不調を訴える方がいる場合、その方はどのような状態ですか。(複数回答可)

	回答数	%
気分が落ち込む	39	60.9%
いらいらする	33	51.6%
眠れない	25	39.1%
食欲がない	8	12.5%
その他	16	25.0%
別紙2		
計	121	
こころの健康に不安のある家族が「いる」回答者(母数)	64	100.0%



別紙1 (Q8)

○ご家族の健康状態について				
	性別	年代	具体的に	
悪くなった	男	20	体重が増えた	
		20	本人:慢性胃炎(マンセイイエン)	
		20	目が悪くなった	
		30	<b>すぐにつかれる</b>	
		30	腰や首に痛みを感じるようになった。	
		40	HbA1Cが悪化	
		40	不規則な生活による心身不安	
		50	心不全	
		50	体重の減少、眠れない	
		50	不眠、うつ病、精神的なこと(老人のかいご)	
		60	肥満で動作がにぶい	
		悪くなる不安がある	女	30
	30			めまい、耳がおこなった
	30			生活習慣病と精神的な病
	30			精気面がおちつかない 胃痛 自律神経の失調
	30			体重が減った。
	30			<b>疲れやすくなった</b>
	30			<b>疲れやすく感じる</b>
	40			色々な疾患が判明した。
	40			震災一年後、毎回検診していて異常なかったのに乳ガンがわかり、療養もしている。
	40			生活習慣病が出てしまった。
	40			息子がリハビリをうけられなくなり、体がかたくなった。
	40			不安を感じての生活に精神面の状態が悪くなった
	50			血圧、関節痛等
	50			<b>精神的につかれる</b>
	50			不眠、不安、むくみ
	60			狭心症が起きるようになった。
	60			血圧が高くなった。眼が見えづらくなった。
	60			頭痛、目のアレルギー
	60	脳梗塞		
	60	避難後2回入院療養中		
	70	経済的余裕がないので節約に限界		
	70	目(紫外、足一歩行不自由)		
悪くなる不安がある	男	30	動かなくなった。	
		60	運動不足、精神的ストレス	
		60	将来の健康不安	
	女	30	がんの疑い	
		40	どのくらい放射能の影響があるか心配	
		40	精神面では被爆ストレスから逃れられ、良かったが、太り気味。ぜいたくな悩みだと思う	
70	かいご2級になり、デイサービスに通っている			
70	時々寝むれない			
無回答	女	無回答	今の所は変わらないが、今後には不安を思う	

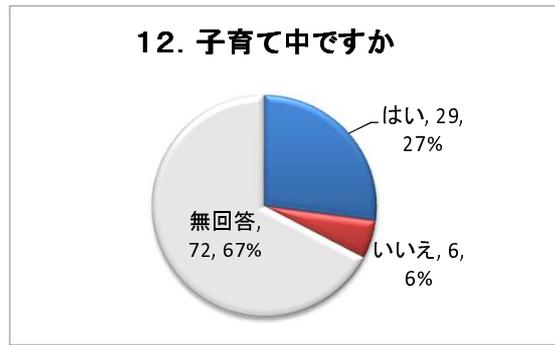
別紙2 (Q11)

	性別	年代	Q11 心の健康の状態:その他括弧欄
その他	男	20	子供等転校に供う精気状態
		50	認知、仕事、老人への不案、住宅の不案
	女	30	パニック発作の再発
		40	PTSD
		40	勉強に集中できなくなった。
		40	毎日悪夢を見る。外出したくない
		50	すぐに涙が出てくる・家族とも話をしたくない
	50	ストレス発散の為のネット通販が増えた	
	男	20	なんとなく。
		40	酒の量が増えた
		60	将来の生活が不安
	女	40	不安、心配性
50		両親と離れて、たまにしか会えないので不安定	
30		つかれる。	

12. 子育て中ですか。

	回答数	%
はい	29	27.1%
いいえ	6	5.6%
無回答	72	67.3%
計	107	100.0%

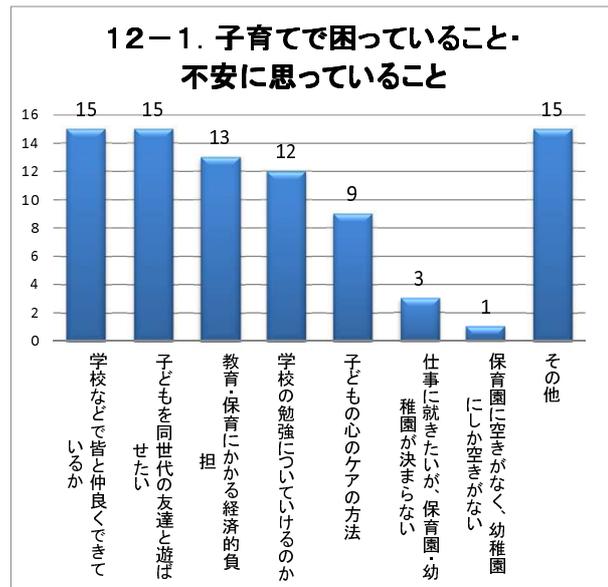
* 基本情報の「5. 家族構成」によると、乳幼児がいる	39
小学生以上の子供がいる	21
子供がいる世帯合計	60



12-1. お子さんの教育や子育てに関して困っていること、不安に思っていることがあれば教えてください。

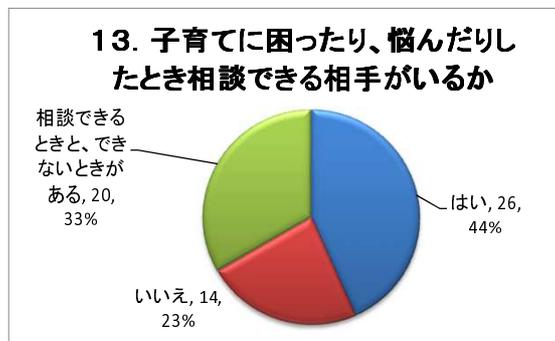
(複数回答可)

	回答数	%
学校などで皆と仲良くできているか	15	25.0%
子どもを同世代の友達と遊ばせたい	15	25.0%
教育・保育にかかる経済的負担	13	21.7%
学校の勉強についていけないのか	12	20.0%
子どもの心のケアの方法	9	15.0%
仕事に就きたいが、保育園・幼稚園が決まらない	3	5.0%
保育園に空きがなく、幼稚園にしか空きがない	1	1.7%
その他	15	25.0%
別紙3		
計	83	
* 子どもがいる世帯合計(母数)	60	100.0%



13. あなたが子育てに困ったり、悩んだりしたときに、相談できる相手はいますか。

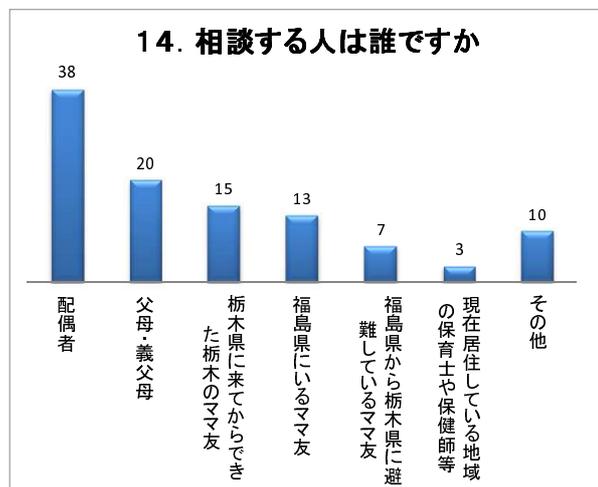
	回答数	%
はい	26	43.3%
いいえ	14	23.3%
相談できるときと、できないときがある	20	33.3%
計	60	
* 子どもがいる世帯合計(母数)	60	100.0%



14. 相談する人は誰ですか。

(複数回答可)

	回答数	%
配偶者	38	63.3%
父母・義父母	20	33.3%
栃木県に来てからできた栃木のママ友	15	25.0%
福島県にいるママ友	13	21.7%
福島県から栃木県に避難しているママ友	7	11.7%
現在居住している地域の保育士や保健師等	3	5.0%
その他	10	16.7%
別紙4		
計	106	
* 子どもがいる世帯合計(母数)	60	100.0%



## 別紙3 (Q12-1)

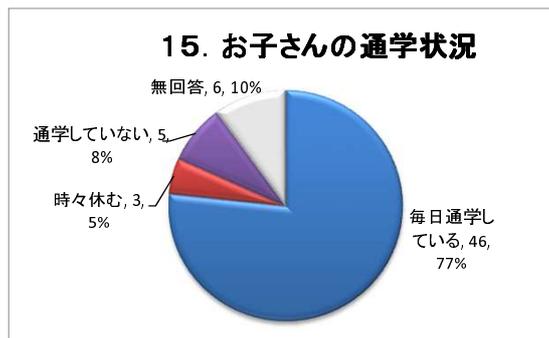
性別	年代	Q12. 子育ての困りごと:その他
男	20	精心的なもの、諸々
	20	福島からの避難だと知られたらへんけんがありそう
女	30	1人で子育てをしているので、私自身への負担が大きい。祖父母となかなか会えなくなった。福島の友人(子供の)となかなかあそべない。自主避難なので、福島に残っている友人もいるのに、なぜ自分達だけが避難しているのかが分からないと子供が言っている。福島のニュースがテレビでやっているとテレビを消してしまう。
	30	この先福島出身という事でいじめにあわないか。
	30	安住先が決められず、進学先に不安がある。
	30	進学について
	30	南相馬市は一切県外避難者の健診などの情報を教えてくれず全て自分で調べなければならない。
	40	ない
	40	ひんぱんに休日に郡山に戻っていますが、既に子どもは郡山の友達とは連絡を取り合っていないので、長期の休みに遊び相手がまったくないのが悩みです。
	40	自分が疾患で入院する際、子供の面倒みってくれる人が身近にいない。
	40	父親と別居しているため、子供と父親との関係。
	40	友だちとの交流がうまくいっているか。
	50	いずれは別れなければいけない友達、自分達ちとのつながり方
70	教育費をかけても福島と言うだけで心配が有る。	

## 別紙4 (Q14)

性別	年代	Q14. 相談する人:その他
男	50	SNSでできた友人。ゲームの友人
女	20	山形に避難しているママ友
	30	特にいない
	40	いない
	40	タイミングが合えば学校の先生
	40	以前からの友人
	40	昔からの友人
	50	地元にいる自分の友達ちなど

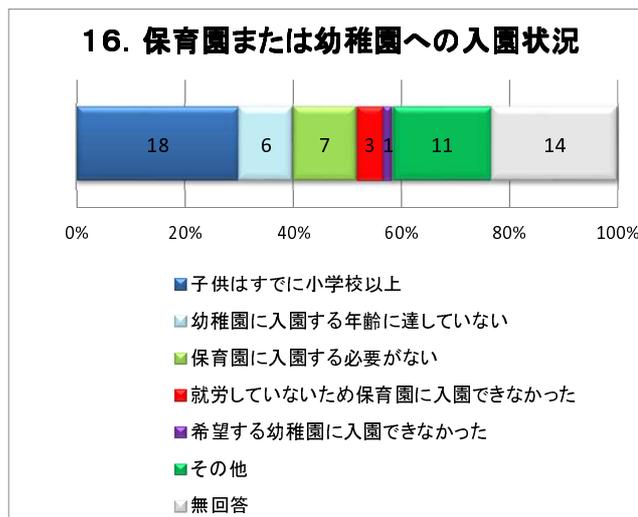
15. お子さんは毎日通学していますか。

	回答数	%
毎日通学している	46	76.7%
時々休む	3	5.0%
休みが多い	0	0.0%
通学していない	5	8.3%
無回答	6	10.0%
計	60	
*子どもがいる世帯合計(母数)	60	100.0%



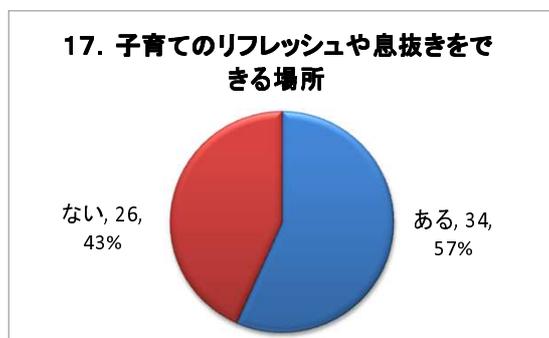
16. 現在、お子さんは保育園または幼稚園に入園していますか。

	回答数	%
子供はすでに小学校以上	18	30.0%
幼稚園に入園する年齢に達していない	6	10.0%
保育園に入園する必要がない	7	11.7%
就労していないため保育園に入園できなかった	3	5.0%
希望する幼稚園に入園できなかった	1	1.7%
住民票を移していないため入園できなかった	0	0.0%
その他	11	18.3%
無回答	14	23.3%
計	60	
*子どもがいる世帯合計(母数)	60	100.0%



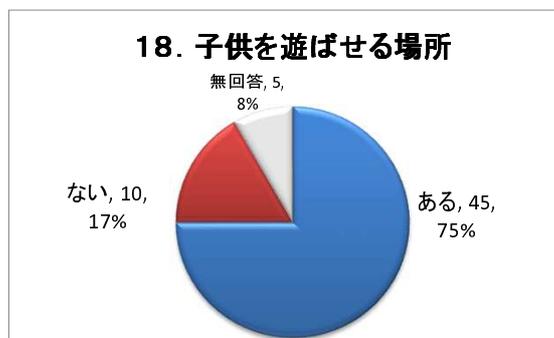
17. あなたが子育てのリフレッシュや、息抜きをできる場所がありますか。

	回答数	%
ある	34	56.7%
ない	26	43.3%
計	60	
*子どもがいる世帯合計(母数)	60	100.0%



18. 子供を遊ばせる場所がありますか。

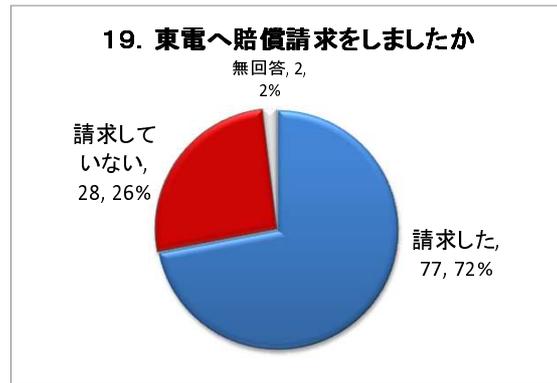
	回答数	%
ある	45	75.0%
ない	10	16.7%
無回答	5	4.7%
計	60	
*子どもがいる世帯合計(母数)	60	100.0%



**【原子力損害賠償について】**

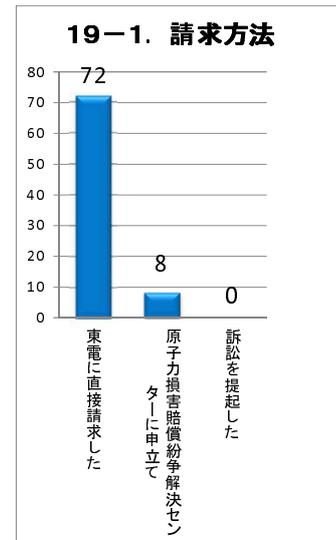
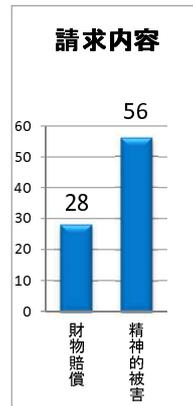
19. 東電へ賠償請求をしましたか。

	回答数	%
請求した	77	72.0%
請求していない	28	26.2%
無回答	2	1.9%
計	107	100.0%



請求内容 (複数回答)

	回答者数	%
財物賠償	28	36.4%
精神的被害	56	72.7%
計	84	
「請求した」回答者(母数)	77	100.0%

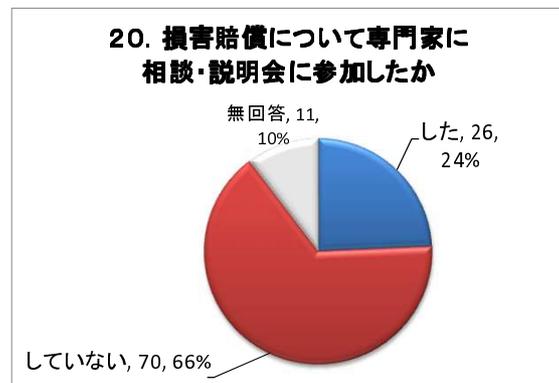


19-1. 「請求した」と回答した方は、どのような方法で請求しましたか。

	回答数	%
東電に直接請求した	72	93.5%
原子力損害賠償紛争解決センターに申立て	8	10.4%
訴訟を提起した	0	0.0%
計	80	
「請求した」回答者(母数)	77	100.0%

20. 損害賠償について専門家に相談したり、説明会に参加したりしましたか。

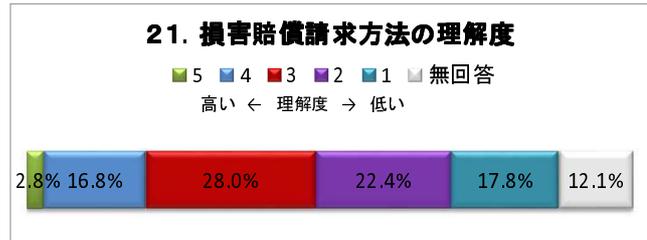
	回答数	%
した	26	24.3%
していない	70	65.4%
無回答	11	10.3%
計	107	100.0%



21. 賠償請求の方法、賠償の対象(どのような損害が賠償されるか)を理解していますか。

(5 高い ← 理解度 → 低い 1)

	回答数	%
5	3	2.8%
4	18	16.8%
3	30	28.0%
2	24	22.4%
1	19	17.8%
無回答	13	12.1%
計	107	100.0%



22-1. 東電が提示している損害賠償の対象、金額に満足していますか。

(5 高い ← 満足度 → 低い 1)

財物

	回答数	%
5	1	0.9%
4	4	3.7%
3	17	15.9%
2	19	17.8%
1	47	43.9%
無回答	19	17.8%
計	107	100.0%



22-2. 東電が提示している損害賠償の対象、金額に満足していますか。

(5 高い ← 満足度 → 低い 1)

精神的被害

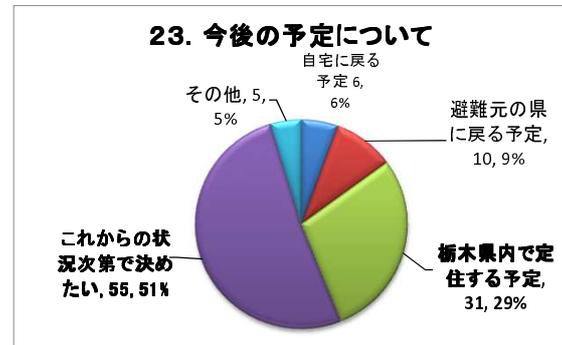
	回答数	%
5	0	0.0%
4	3	2.8%
3	14	13.1%
2	23	21.5%
1	59	55.1%
無回答	8	7.5%
計	107	100.0%



**【今後について】**

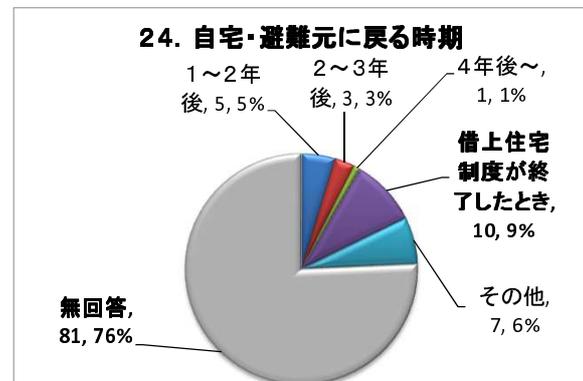
23. 今後の予定について教えてください。

	回答数	%
自宅に戻る予定	6	5.6%
避難元の県に戻る予定	10	9.3%
栃木県内で定住する予定	31	29.0%
これからの状況次第で決めたい	55	51.4%
その他	5	4.7%
計	107	100.0%



24. 自宅もしくは避難元の県に戻る予定の方へ。戻るのはいつですか。

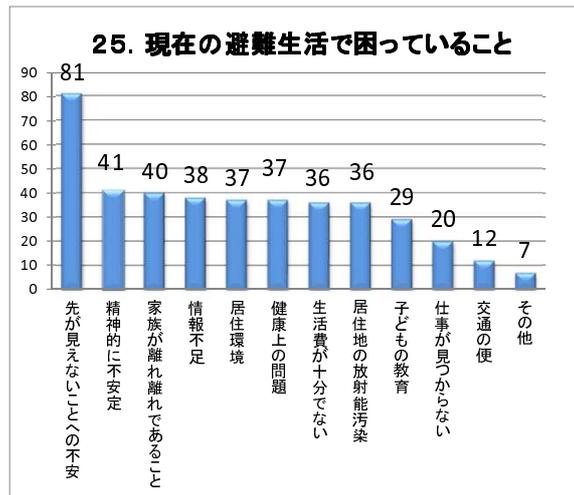
	回答数	%
1~2年後	5	4.7%
2~3年後	3	2.8%
4年後~	1	0.9%
借上住宅制度が終了したとき	10	9.3%
その他	7	6.5%
無回答	81	75.7%
計	107	100.0%



**【不安や相談場所など】**

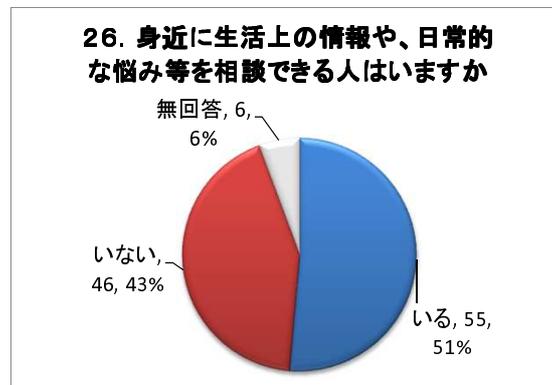
25. 現在の避難生活で困っていること (複数回答可)

	回答数	%
先が見えないことへの不安	81	19.6%
精神的に不安定	41	9.9%
家族が離れ離れであること	40	9.7%
情報不足	38	9.2%
居住環境	37	8.9%
健康上の問題	37	8.9%
生活費が十分でない	36	8.7%
居住地の放射能汚染	36	8.7%
子どもの教育	29	7.0%
仕事が見つからない	20	4.8%
交通の便	12	2.9%
その他	7	1.7%
計	414	100.0%
全回答者数(母数)	107	



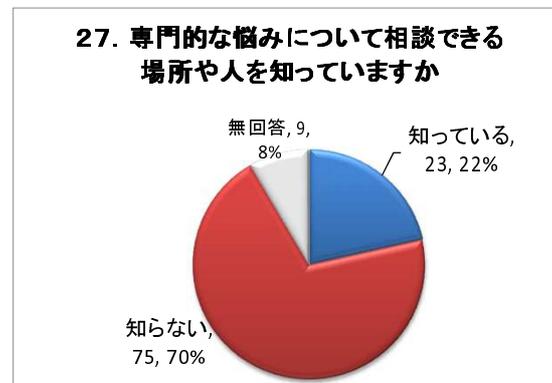
26. 身近に生活上の情報や、日常的な悩み等を相談できる人はいますか。

	回答数	%
いる	55	51.4%
いない	46	43.0%
無回答	6	5.6%
計	107	100.0%



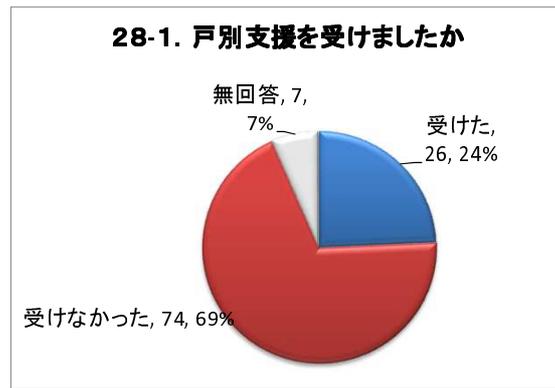
27. 専門的な悩みについて相談できる場所や人を知っていますか。

	回答数	%
知っている	23	21.5%
知らない	75	70.1%
無回答	9	8.4%
計	107	100.0%



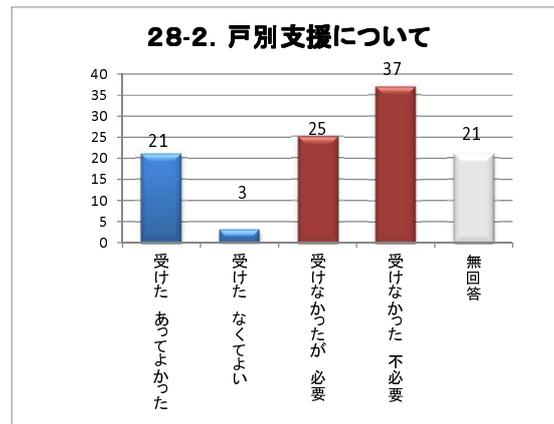
28-1. 戸別支援を受けましたか。

	回答数	%
受けた	26	24.3%
受けなかった	74	69.2%
無回答	7	6.5%
計	107	100.0%



28-2. 戸別支援について

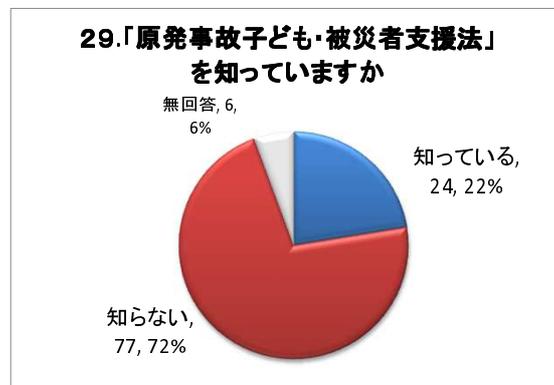
	回答数	%
受けた あってよかった	21	19.6%
受けた なくてよい	3	2.8%
受けなかったが 必要	25	23.4%
受けなかったが 不必要	37	34.6%
無回答	21	19.6%
計	107	100.0%



**【その他】**

29. 「原発事故子ども・被災者支援法」を知っていますか。

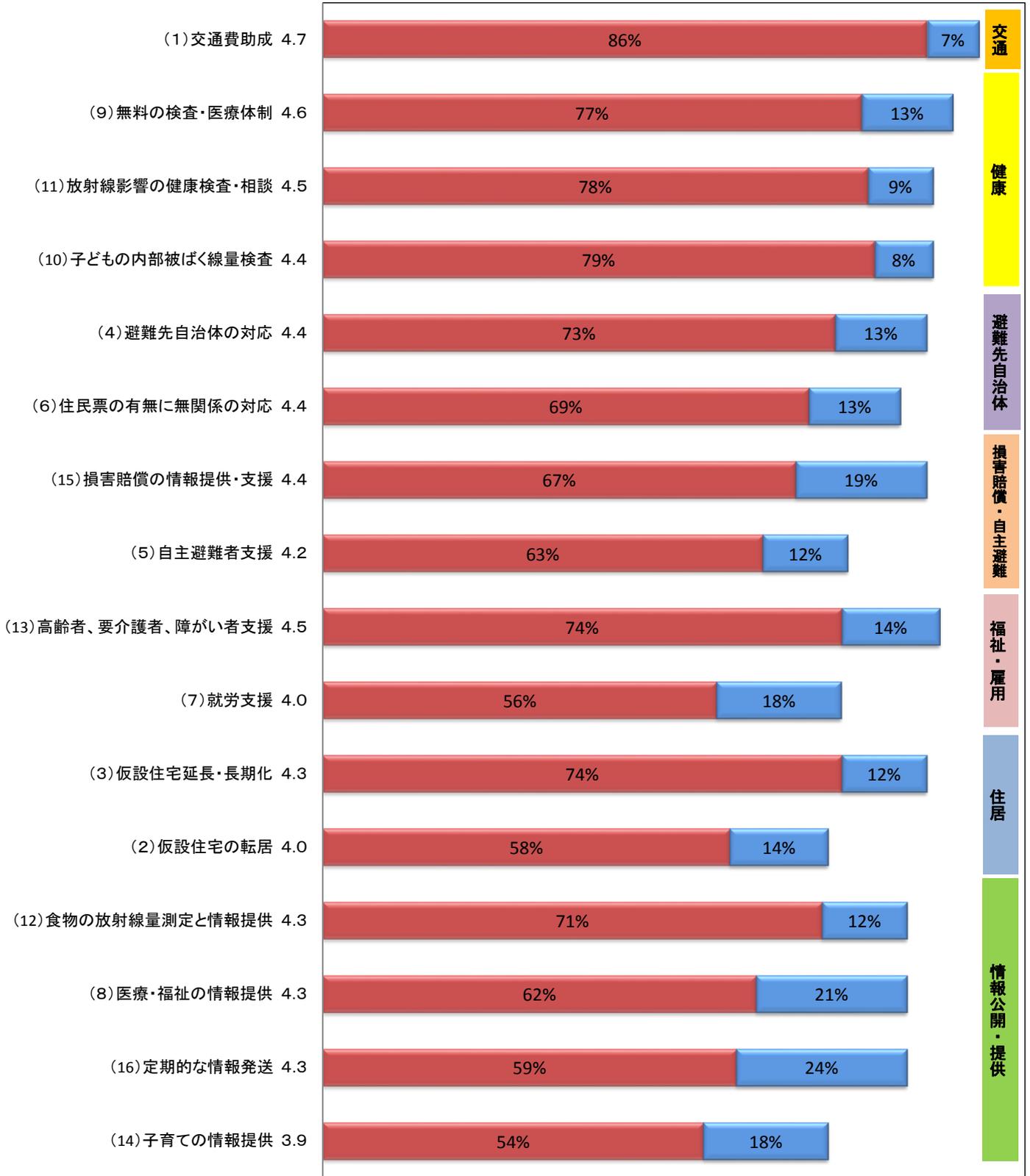
	回答数	%
知っている	24	22.4%
知らない	77	72.0%
無回答	6	5.6%
計	107	100.0%



## 2013年度 栃木県避難者の必要性の高い支援

■ 5: 必要性がもっとも高い ■ 4: 必要性が高い

\*平均値=必要性が「低い」1⇔「高い」5の5段階評価の平均値



5. その他、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由におかきください。	年代	性別
<b>状況</b>		
県外避難をしたが親族は福島県の為、帰省の際の距離感と金銭的負担があり、震災前のように気軽に帰省できなくなってしまった…。県外避難したものの、定職(正社員)雇用の件数が少なく、生活面で不安が大きい。	30	女
子供が中、高、大学生という、一番むずかしい年代になり住居環境、精神的不安など表面に出にくい問題が山積しています。夫も単身赴任先で苦勞しているので、なかなか相談しても良い解決法が見つからず毎日不安でいっぱいです。先の見えない生活がこんなにつらいとは、思いませんでした。	40	女
私達への支援を有難うございます。あの日以来、人とお話する事で恐怖心が高まり不眠や精神面で落ち込んでしまいます。(私達の苦しみの声が届かない)アンケートは全身(全心)で答えさせていただきます。	40	女
戻りたい戻りたくないで意見が分かれ原発離婚になりそうで怖い…これからどう生きていったらいいのか不安…悩みを共有できるような人がいたら心強いのですが…	60	女
戻りたいけど戻ることはできません。	40	女
避難者達の心を思うと一こくも早く復興して故郷(ふるさと)に戻りたい気持で一ぱいです。よろしくお願いします。	60	女
私共夫婦は仕事もあり年金もありの生活でしたが息子は仕事も会社も地元の為、仕事も失いなかなか見つからず困っています。大学出てから20年同じ会社で働いていたのでなかなか決心もつかずいろいろと大変な毎日です。	70	女
<b>東電・国に対して</b>		
東電に対するいかりしかない お金で解決できないものはどうするつもりか??	30	女
何故、栃木県内だけ東電説明会が開催されないのか、不思議に感じている。	30	男
県外に避難しており、その避難先ではあたたかく(何事もなく、変わらず)向かえて頂いております。定住も考えたいのですが避難元のローンも有り、賠償をもっとしていただかないと、二重ローンになります。最低でも前の生活レベルに戻りたいです。	30	男
福島の家は車イスで生活している息子のためにバリアフリーの新築の家だった。学校にも車イスで通い、充実していた。栃木ではバリアフリーの家ではないので、家族の負担も大きい。障がいを持つ人間にとって環境が激変したことは大きく、東電は、何らかの対応をすべき。通院していた病院にも通えなくなってしまった。	40	女
これから先、前進して行こうと思っても、それを阻む物があり不安定な状態です。まず東電の対応、公平かつ迅速ではないという事、福島原発の事故処理問題、無責任過ぎます。国に対しても同じ避難している人達の人権無視など。アンケート書くだけでも血圧が上がり体調が悪くなります。	50	女
除染後、安全確認 室内清掃後帰宅予定。家族内でも安全感の度合異なること。放射能検査測定安全基準値 一部ヨウ素、セシウムだけであり、他の成分はどうなっているの?何も言わないけど安全?安全基準値に他の要素 食物、地表面完全ではないのに宇宙線検査等含まれると、オーバーしてしまうのに。福島県内、外で情報、扱われかた、支援、ちがっていたこと。帰宅準備でハウスクリーニング期限つきであった。3月末日までだった(当方は)範囲についても前もって指示されたのと異なる。査定であった。これは東電の後出しジャンケンのように不正ではないか。今までも、今後も事業の点においても全面的に何か不正をしてきて、これからも行なって行くのでは不信だらけです。	60	女
TVや新聞などで東電のニュースが目に入ると、気持がイライラ、見たくないけど確かめたい気持も、今だに続いています。そういう気持をはき出す所がない。	60	女
2年5ヶ月が過ぎても何一つ心が満される事は有りません。東電・国のあいまいな態度・避難者の気持ちでとか言葉は聞けけれど、住まい一番必要とする人間として、国民としてのあつかいはされていない気がする。日々です。東電の賠償は大切な(家・土地)の件はもう少し国が先に立ち、進めるべきで有ると思う。(賠償の金額次に進めない事してほしい。(小さくても、家族と一緒に生活する幸を下さい。)(何がアベノミクスだか福島を3・11を忘れたのか、政治家達にしか見えない。)	70	女

5. その他、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由におかきください。	年代	性別
<b>自主避難者</b>		
自主避難の方は、保育園へ受けつけられないと伺いました。経済的にも負担があり大変なので働きたい母親の為に、保育園への受け付けは認めるべきだと考えます。子どもは、避難先の学校や地域になじむ事ができていますが、私はなかなかなじめません。避難後に子ども授かり、「避難してきた人が結こう子ども産んでいるんだよね」とひなご的な事を言われたり、こんな状況なので、ちょっとした言葉でも傷つきやすくなっています。	30	女
被災者支援といいながら、避難区域外はまったく無視されている今の現在にかなり不満。	50	男
○自主避難者にも、少し保証(支援金)があればと思います。 ○自主避難者はつらいです。自主避難の言葉さえ報道されないで理解されていない。 ○半径何K、何Kで決めるのは不思議です。 ○その他除染の件、住まいの件等々知りたい事が沢山ありますが…自主避難のため記入する事は出来ません。	70	女
自主避難者への対応が悪いと思います。福島市は実は線量は高いのに、どうして、国は差を付けて、いろんな面で不利にするのか？線量の高い所には、正直に公開して、差別なく国が対応すべきです。	無回答	女
特に、自主避難者に対する支援をお願いしたいです。二重生活の為、光熱費が単純に2倍です。子供の教育費も、新潟県村上市に自主避難した友達は幼稚園の学費が全額無料で、制服まで支援していただいたそうです。栃木県内でも、水道代を補助してくれる市町村があると聞きました。それから、借り上げ住宅の長期化を望みます。このままだと、帰りたくないのに、戻らなければならなくなります。宇都宮市以外でどのような補助や支援があるのか詳しく知りたいです。もちろん、宇都宮市の情報もお願いします。	40	男
<b>交通費助成</b>		
妻が病院通いがあるため時々自宅にもどる。そのため高速道の無料化は大変ありがたく思います。	70	男
高速道路の無料化にはとても助かっております。高速道路だけではなく新幹線等で避難元と避難先の行き来の無料化があっても良いのではないのでしょうか。私自身高速道路の運転が苦手な為、避難元に帰る際の交通費(新幹線)は痛手です。そういう点の交通費助成をお願いできたらと思っています。	40	女
高速無料化、福島県外以外も利用したい。(両親が東京へ避難している為お金がかかる)	30	男
<b>報道・ニュースについて</b>		
福島に関するニュースを正確に流してほしいと思います。子供達の甲状腺検査の結果など本当の情報が分からない事が多い。	30	女
・私の住んでいる所は、避難解除地域です。でも、放射線量は、今だに高いです。その不安！！ ・本当の事が、報道されない。 ・日本国全体が忘れようとしている。	60	男
<b>宇都宮大学FSP:アンケートについて</b>		
質問内容が、やや難しかったです。	40	女
※今回は私1人の考えで夫には黙って書いてしまいました。(できれば一世帯1通ではなく各々に配っていただけたら…)出そうかどうかずいぶん迷い、遅くなって申し訳ありません。	60	女
・書面を汚して申し訳ありません。 ・遅れました(しまい込んでおきまして忘れてました。)	70	女

5. その他、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由におかきください。	年代	性別
<b>栃木県・国</b>		
<b>&lt;借り上げ住宅(仮設住宅)の延長・長期化&gt;</b>		
借り上げ住宅は来年の6月で打ち切られるそうですが、先がみえなく、(子どもも小さい為福島に戻るつもりはない)今後、どこで生活していいのかわかりません。毎日、毎日、難題をかかえながら、いいそれでも生きなければと頑張っているところです。お世話になりました。今後ともよろしくお願い致します。	30	女
支援ありがとうございます。このまま延長していただくと大変助かります。	30	女
いつも、情報案内を送付いただき感謝しています。家族と離れ子供と二人だけで誰も知り合いもない、この土地で生活しています。子供の教育やこれから先の借り上げの延長について何か情報等ありましたら、教えて下さい。お願いします。	40	女
借り上げ制度も来年の6月までとなっています。その先延長になるのか早目に知らせていただかないと今後の計画ができません。高速の無料措置もそうですが、期限ギリギリになってから“延長”ではなく、十分前もって制度の延長、打ち切り等知らせたいです。	40	女
私は自主避難ですが、栃木県の借り上げ住宅に入居させていただき、大変感謝しております。息子(三1)は幼い頃からの病気があり、ストレスが一番からだに良くないと言われているので、こちらへの自主避難を決めました。震災当時は中2でしたので、いよいよ中3になり進路をどうするかという時、福島市内の高校への進学を決めていましたが、福島を離れた方が良いということになり、栃木県内の高校への進学を決め、無事に〇〇高校に入学することが出来ました。お陰様で、現在、のびのびと、サッカー部に入り、文武両道に励んでおります。借上げ住宅の延長をあと1年希望しております。	50	女
<b>&lt;借り上げ住宅(仮設住宅)の転居&gt;</b>		
避難してきて時がたって、結婚して子どもできて部屋せまく休める場所がないです。もう一度、借上住宅をやって住みかえがしたいです。	20	男
借り上げ住宅の転居を一、二回は認めてほしい。(仕事、学校等や、借上げ場所の人間関係などという意見で)情報が少ないので教えてもらえるとありがたいです。	20	男
福島市内は避難区域になっていないのに、いまだに線量が高く、除線も進んでいない状態です。子供の健康を思い、自主避難しましたが、知人も居なく不安な日を送っています。主人も宇都宮に来て仕事につき、除線が終るまで福島には帰れないので、別の借上げ住宅への転居を強く希望します。あと、もし戸別訪問に来て頂けるようでしたら、ぜひお願い致します。	30	女
上記にもありますが、現在住んでいる借り上げから別の借り上げへの転居を認めてほしいです。(ここに住むことに決めた時は短期間でアパートをさがしたり、二重生活だったが、現在は家族7人で住んでいるためとても狭い!)いろいろ状況も変わっているため	40	女
借り上げ住宅を使用して延長は大変うれしいのですが当所は思うようなところがなくペットもいたことから協があった!最近母も89才になり足がよわり段差やおふろの古さで困っています。別の所へ移してはもらえないのでしょうか	50	男
これ程長期化することは想定出来ず、まず、駅近(その時は車はなかったため)と考え現在1DKに入居している、しかし、これ先、2年、3年と長期に考えないといけなくなって来ているのが現状、住み換えを考えているが、栃木県生活部消防防災課では、それを認めず、やりきれなさを感じています。実際家賃は月/1000円の上積だけであるのに、本当に情けないです。	60	女

5. その他、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由におかきください。	年代	性別
<b>その他、栃木県内避難先での対応・支援など</b>		
家に(地元に戻りたくても戻れず、全く知らないところでの土地探し、そして家を建てる計画をしています。ですが全くといっていいほど支援や補助等有りません。本当は絶対に誰でも地元に戻りたいはずですが。まわりに店が無く、お金も無くて幸せと感じていたあの土地に。そこを強く言いたいし、何か支援等出来たらうれしいです。	20	男
栃木県で「震災被災者対象求人」で入社しましたが、一時帰宅など行かせてもらえず、退職しました。何の為に被災者用だったのかわからない。(両親が東京へ避難している為お金がかかる)	30	男
・住居・支援・避難先の汚染状況・避難先住民・学校・幼稚園の放射能汚染への意識]どれも複雑な思い、葛藤があります。	30	女
宇都宮市に住民票を移しましたが、仕事等に必要と思った為の措置でしたが、宇都宮市は住民税が高いことを知り、不幸平さを感じました。免税の対象になれば良いと思いましたが、移動前の市の税額に合わせる等して欲しかったです。	30	女
様々な会(お茶会など)に参加してみたいと思うが、仕事があるといそがしく時間がとれない。宇都宮の市政だより等地域の情報がもっと知りたい。	30	女
避難先での福祉関係の支援体制のハードルが高く利用できない等がある。(市町村によって違うと思いますが) (対応・支援がスピーディーという市町村もあれば、できないと断られる市町村もあると聞いている。) 支援体制が平等でない。	60	男
<b>&lt;とちぎ暮らし応援会・栃木県民&gt;</b>		
いつも情報を届けて下さりどうもありがとうございます。栃木、福島の両情報があるので助かります。福島の被災者をいつまでも気に掛けて下さる方がいるのは心強くありがたいことです。	40	女
〇戸別支援を受け助けて頂きまして、有賀度うございました。※応援会の方々御苦労様です。	70	女
栃木県民の皆様のご親切を頂き、感謝しております。	60	男
<b>避難元</b>		
南相馬市役所の対応が悪く、ガン検診や子供の予防接種など何も情報がもらえず、大変不便な思いをしている。将来も、どうしていいのかわからない。もう、国や南相馬市は県外へ避難している人達は、みすてていると思っている。南相馬市は最低なとこだ。	30	女
福島県内と県外の差を無くしてほしい。町の検査などが平日のみで受診できません。もう3年目に入ります。小学一年の子が三年になりました。小学校の半分です。今さら戻れますか？なので16年勤めた会社を辞めました。	30	男
・避難地区の情報は現在、現住所のあった役所に手続きしたので定期的に同じように届けられるようになり、現住所の役所にもお世話になり、大変ありがたく思っています。 ・内職などの話しもあり、少し収入をえる事が出来ました。相手社が内容に続けられるものではなかったのが残念でした。	50	女
避難元の放射線の正確な情報 今後の見通し 1年後に帰っても大丈夫なのか一番心配です	80	女